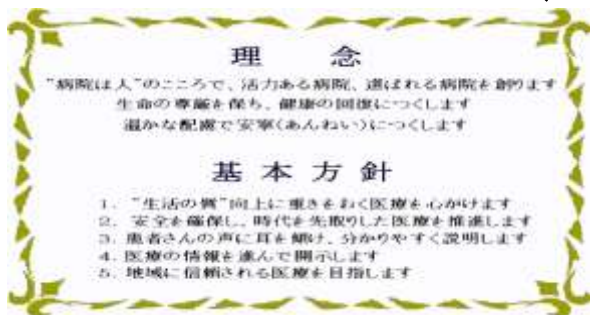


令和 3 年 3 月 1 日 発行
KKR 札幌医療センター
〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
電話 (011) 822-1811
<http://www.kkr-smc.com>

(2021-3号)



<u>3月(如月)のこよみ</u>		
3月	3日(水)	ひな祭り
3月	14日(日)	ホワイトデー
3月	20日(土)	春分の日



コロナ対策 ～コロナではない患者さんのために～

循環器内科部長 白井 真也

コロナ感染に対しては、皆さんにもマスク・手洗い・換気・ソーシャル（フィジカル）ディスタンスなどが随分と浸透したのではないのでしょうか。では病院ではいったいどのように対策をしているのか、今回はそれをご紹介します。としたいと思います。

○マスク・だけでなく、フェイスシールド+ガウン+手袋!

我々医療者にはソーシャルディスタンスをとることは現実的ではありません。その分、万が一目の前の患者さんがコロナに感染していても、それをほかの患者さんに拡げないという努力をしています。テレビで観るコロナ患者さんのみでなく、特に救急搬送されて緊急処置をする際には患者さんがコロナにかかっている可能性を考えて写真のように対応しているのです。



↑ 処置後はきれいに拭き掃除

○手洗い・もしますが、アルコールによる手指消毒!

我々医療者ではこれが基本中の基本となります。外来はもとより入院患者さんの診察や何かしらの処置の前後は1回1回必ずアルコールによる手指消毒をします。このボトル1本約200ml/200回分は2日～7日で消費されます。



院内全体でこのようにコロナ対策を入念に行い、むしろコロナではない多くの病気の患者さんをしっかり拝見できるように努めています。病院の出入りでは皆さんにも不自由をお掛けしますが、力を合わせてコロナ禍を乗り越えていきましょう!

当院は≪敷地内全面禁煙≫となっております

♪ 精神科リエゾンチームのご紹介 ♪

精神科リエゾンチーム

KKR札幌医療センターでは、令和元年より精神科リエゾンチームの活動を開始いたしました。“リエゾン”とはフランス語で「連携・橋渡し・つなぐ」を意味します。精神科リエゾンチームは、精神医療と身体医療を“つなぎ”、患者様が安全・安心に医療を受けられるよう、担当各科の医師や看護等と「連携」しながら活動しております。

精神科リエゾンチームのメンバーは、精神科医、公認心理師、精神保健福祉士、認知症看護認定看護師といった複数の専門職種から構成されており、入院中の患者様やご家族の精神的なサポートをさせて頂いております。

○精神科リエゾンチームの活動内容

- ★せん妄、抑うつ、不眠、精神疾患をもつ患者様、身体疾患に伴う様々な精神症状をもつ患者様へのサポート
- ★患者様のご家族が抱える不安や心配事へのサポート
- ★必要な専門職種との連携・橋渡し など

○精神科リエゾンチームでは「物忘れ・認知症」に対しての相談も承っております。

- ★「物忘れや認知症って??」といった病気や治療についてのご相談
- ★「物忘れ・認知症」による症状への対応
- ★日常生活介護（食事介助、排泄介助、入浴介助、お薬など）について
- ★介護サービスの活用について など

※当院では「精神科外来」「認知症専門外来」は開設していません。

外来受診はございませんが、ご相談に対して、アドバイスさせて頂いたり、各種関係機関とのつながりをサポートさせて頂いております。

※当院に外来通院中または、入院中の患者様やご家族で、精神科リエゾンチームへの相談を希望される場合は、担当医や看護師等にご相談ください。



**まずは悩まず
ご相談を!**

